

時間	セッション	演題番号	筆頭演者	所属機関名	演題名
11:05～11:55	一般演題①	O-1	瀬尾晃平	昭和大学横浜市北部病院	経膈的治療が困難な頸管無力症に対し、妊娠初期に腹腔鏡下子宮峡部頸管縫縮術を施行し正常産児を得た1例
11:05～11:55	一般演題①	O-2	石岡伸一	札幌医科大学	高度子宮頸管短縮症例に対する開腹子宮頸管縫縮術(TAC)施行13症例の検討
11:05～11:55	一般演題①	O-3	堀江健司	自治医科大学	切迫早産および子宮頸管長短縮症例への抗菌剤投与とそのタイミング—PLASH-1研究
11:05～11:55	一般演題①	O-4	北澤晶子	慶應義塾大学	子宮破裂を生じた子宮筋腫核出術後妊娠の2例
13:05～13:55	一般演題②	O-5	高橋ゆう子	東京大学	頸管短縮および切迫早産で入院となった妊婦における早産発生に関わる臨床的因子の同定
13:05～13:55	一般演題②	O-6	熊澤一真	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター	妊娠26週～34週未満に前期破水を発症し1週間以上妊娠継続が可能であった症例の新生児予後
13:05～13:55	一般演題②	O-7	鷹野夏子	埼玉医科大学病院	当院における早産児の脳室周囲白質軟化症症例の後方視的検討
13:05～13:55	一般演題②	O-8	大槻克文	昭和大学江東豊洲病院	プレバイオティックスであるラクトフェリンによる難治性膣炎に対する改善効果
14:00～15:00	一般演題③	O-9	鮫島大輝	東京大学	妊娠中期の頸管短縮例における、プロゲステロン反応性の抗プロテアーゼ蛋白プログラニユリンの発現についての検討
14:00～15:00	一般演題③	O-10	最上晴太	京都大学	上皮間葉転換 (EMT) は前期破水における羊膜の治癒を促進する
14:00～15:00	一般演題③	O-11	吉川美登利	東京大学	活性酸素種を介して子宮局所で活性化したApoptosis signal-regulating kinase1(ASK1)が早産の発症に関与する
14:00～15:00	一般演題③	O-12	川村洋介	京都大学	羊水中の胎児肝臓由来マクロファージは破膜部位の卵膜再生を促進する
14:00～15:00	一般演題③	O-13	鈴木 朋	国立成育医療研究センター	早産既往症例における縫縮術と妊娠転帰についての検討
15:05～16:25	ワークショップ	WS1	瀬山貴博	東京大学	妊娠34週未満の早産期前期破水の管理について
15:05～16:25	ワークショップ	WS2	藤野佐保	東京都立墨東病院	preterm PROMの管理についての後方視的検討
15:05～16:25	ワークショップ	WS3	渡邊理子	日本赤十字社医療センター	前期破水後に26週未満で出生した児の予後についての検討
15:05～16:25	ワークショップ	WS4	中村永信	埼玉医科大学総合医療センター	当センターでのpreterm PROMの取り扱いと治療方針